



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

【学校教育目標】 ふるさとを愛し、夢と志を持って、未来を創造する児童の育成

祝・卒業「新たな日々へ旅立ちました」

3月18日(水)、晴天に恵まれ、在校生と保護者の皆様、御来賓の皆様が見守る中、第12回卒業式が行われました。御来賓の皆様からも「とてもよい卒業式でした」とのお言葉をいただいたように、緊張感と温かさの中、子供たちの思いがたくさん詰まった最高の卒業式となりました。9名の卒業生の胸の中には、どんな思いがあったのでしょうか。小学校と別れを告げる寂しさ、これまでのたくさんの出来事の懐かしさ、新たな日々へ旅立つ高揚感……。様々な思いを胸に卒業式を迎えたことと思います。式の最中には、在校生と「別れのことば」を交わしました。卒業生も在校生も、お互いに思いを伝え合う姿は感動的で、すばらしいものでした。式終了後には、在校生が見送る中、卒業生が学び舎を後にしました。そこには、泣きながら別れを惜しむ姿、笑顔で再会を約束する姿がありました。

9名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。これまで子供たちを支えてくださった地域の皆様、いつも子供と丁寧に向き合ってくださいました保護者の皆様、たくさんの方々のおかげで卒業式を迎えることができました。ありがとうございました。



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

第29回卒業式。10名の卒業生が学び舎を巣立ちました！

令和8年3月7日(土)に令和7年度第29回卒業式が挙行されました。小関町長様はじめ、多くのご来賓の方々にお越しいただくとともに、温かいご祝辞や祝電も多数いただきました。校長からは、卒業生の未来が幸せで溢れるように願う者を代表して、また、人生の先輩の一人として、2つのアドバイスが送られました。また、卒業生代表の高橋優輔君は、思いを込めて答辞を述べました。次に一部をご紹介します。

七ヶ宿中学校で過ごした三年間は、長いようでいて瞬間に過ぎ去りました。今、振り返ると数えきれない思い出が鮮やかによみがえってきます。

一年生では、多くの初めての経験を通して中学生としての一步を踏み出しました。町内での職場体験では、小学校の頃から知っている場所であっても、働く立場になったことで見える景色が大きく変わりました。仕事の大変さや責任の重さ、相手を思いやる心配りの大切さを学び、貴重な気づきを得ることができました。

二年生では、体験を通して視野を広げる一年となりました。南三陸での宿泊学習では、東日本大震災の被害や復興への歩みについて学び、私たちの住む町とは異なる環境で過ごす中で多くのことを考える機会となりました。澄んだ海の美しさや、実際に触れた海水のしょっぱさに驚いたことも印象に残っています。

三年生は、仲間との絆がさらに深まる一年となりました。中でも東京・横浜への修学旅行は、特に心に残る思い出です。自主研修では、初めて訪れる多くの場所に緊張しながらも、試行錯誤を重ね、仲間と協力して行動する大切さを実感しました。人の多さに戸惑い、道に迷ったことさえ今では懐かしい思い出です。

ディズニーランドでは思いきり楽しみ、気づけばたくさんのお土産を抱えていました。横浜では中華街の美しい街並みや赤レンガ倉庫の大きさに驚き、チキンラーメン作りや水族館見学も心に残る体験となりました。帰る頃には友達とたくさん話したことで声が枯れるほど充実した時間を過ごしたこの修学旅行は、私たちにかけがえのない宝物となりました。

今日まで私達を見守り続けてくれた家族へ。日々の生活を支え、励まし続けてくれたおかげで、私達はここまで成長することができました。たくさんの愛情に心から感謝しています。これからも迷惑をかけることがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願ひします。

今日まで共に歩んできた仲間。三年間、笑い合い支え合いながら過ごした日々は、かけがえのない宝物です。互いに成長し合えたことに心から感謝しています。またどこかで再会できる日を楽しみに、それぞれの道を歩んでいきましょう。

三年間、私達を温かく導いてくださった先生方。私たちは今、感謝の気持ちでいっぱいです。優しく見守り、ときには厳しくご指導くださったおかげで、私たちは前を向いて歩むことができました。本当にありがとうございました。

これから私達は新たな世界へ歩み出します。七ヶ宿中学校で学んだこと、仲間と過ごした日々を胸に刻み、将来、自立した社会人になることを目標に前へ進んでいきます。

熱い思い、感謝、涙のあふれる感動的な卒業式でした。これから広い世界に飛び立つ卒業生に幸多からんことを心より願ひます。頑張れ七中生！

